



絆深め未来永劫 交流の輪を



記念植樹 23/11/14

Wilsonville市から35周年を記念して頂いたお祝い金を基に、日中線跡地にしだれ桜を植樹しました。そしてこの日は奇しくも協会設立の日。偶然が重なりました。

1988年10月、喜多方市とアメリカオレゴン州Wilsonville市は姉妹都市を締結しました。あれから35年、両市の中学生や高校生達の相互派遣を中心に交流を重ね今日を迎えました。今回の訪問団の受入には両市とも特別な思いがありました。2018年8月、喜多方市訪問団は姉妹都市締結30周年を記念してWilsonville市を訪問しました。それから2023年の間に様々なことがありました。まず2019年は、2018年に決定した57年ぶりの「2020東京オリンピック・パラリンピック」の開催の翌年。Wilsonville市とのつながりでありアメリカを「ホストタウン」として位置づけ、オリンピック・パラリンピックに向け、大きく動き出します。その動きの一方で世界を震撼させた、新型コロナウイルス感染症は世界中にまん延。世界の様々な社会経済活動をマヒ状態にしたの

です。しかし世界を震撼させたコロナ禍でしたが、両市はオンライン等で更なる交流を深めていきました。長年の相互交流やこのホストタウンの取り組みを経



MEET the DELEGATION
姉妹都市締結35周年 Wilsonville市訪問団

 Julie Fitzgerald Mayor ウィルソンビル市長 ウィルソンビル市長	 Kristin Akervall City Council President クリステン・アークヴァル ウィルソンビル市議会議員	 Caroline Berry City Council Member キャロリン・ベリー ウィルソンビル市議会議員
 Joanna Liville City Council Member ジョアンナ・リヴィル ウィルソンビル市議会議員	 Amanda Gulle-Hirman City Mayor アマンド・グッレ・ヒルマン ウィルソンビル市長	 Erica Behler Board Staff Officer エリカ・ベラー ウィルソンビル市職員
 Sammy Scarpone Mayor's Office サムミー・スカポネ 喜多方市国際交流協会副会長	 Adrianna Scrimisar Office City Board Member アドリアンナ・スクリシサール 喜多方市国際交流協会副会長	 Ashleigh Sumerlin Same City Board Member アッシュレイ・サマーリン 喜多方市国際交流協会副会長



ウエルカムパーティーの様子
喜多方市と協会が成田空港までお迎えに行きました！
ウエルカムパーティーでは、訪問団メンバーのサミーさんがホストファミリーの榎木さん親子と歓談。パーティー終了後は榎木さんの自宅で二次会だったそうです！
24/2/4



訪問団記念植樹地訪問 24/2/5

悪天候の中ではありませんでしたが、皆さんにこやかに記念撮影をしました。

て、Wilsonville市はそれまでの姉妹都市活動をボランティア活動から行政の活動へと昇格させていきました。このような経緯を経ての35周年記念事業の喜多方訪問だったので。
訪問時期は2024年2月3日から9日まで。寒い時期にお迎えすることに意見はありましたが、喜多方市と一緒に盛り沢山のおもてなしをさせて頂きました。
今後は40周年の記念事業に向けて様々な交流を重ね、両市の絆を更に深めていきたいと考えています。

今回来喜された方々です。

喜多方との絆を再発見する訪問団



協会が、2020年に新しく「喜多方姉妹都市諮問委員会」として誕生したメンバー3名の、計10名での訪問となりました。5年ごとに実施している周年行事ですが、市長ご夫妻と市議員をそしてリニューアルされた姉妹都市諮問委員会のメンバーが共に行動するというのは初めてです。ウィルソンビルの姉妹都市・喜多方への関心の高さが反映されたものと考えています。ウィルソンビルの様々な要望が直前まで届き、関係者は出来るだけその要望に応じてあげようとスケジュールを練り直しておりました。スケジュール一覧とその中のいくつかのシーンをご紹介します。

今回の訪問団はジュリー・フィッツジェラルド市長ご夫妻にウィルソンビル市議会議員3名、弁護士と職員それぞれ1名、そしてそれまでボランティア組織だったウィルソンビル姉妹都市

SCHEDULE

喜多方市滞在スケジュール

- 2/4日**
 - ・羽田発 喜多方へ(ゆもとや着)
 - ・姉妹都市締結35周年記念宣言署名式
 - ・歓迎会(ゆもとや泊)
- 2/5日**
 - ・市役所正面ホールで歓迎
 - ・喜多方市長、副市長、教育長と面談
 - ・市役所内・議場視察
 - ・喜多屋でラーメン(昼食)
 - ・ビーナッツ工場見学(APJ)
 - ・アイデミきたかた見学
 - ・日中線しだれ桜記念植樹地訪問
 - ・リオンドール他買い物(ゆもとや泊)
- 2/6火**
 - ・木之本漆器店、北見八郎平商店訪問
 - ・姥堂小学校(児童と交流)
 - ・姥堂小学校で学校給食(昼食)
 - ・喜多方市役所にてビジネス交流会
 - ・フリータイム(ラーメン館・散歩など)
 - ・お多で夕食会(ゆもとや泊)
- 2/7水**
 - ・願成寺訪問
 - ・料理交流会(おにぎり、肉じゃが、ラーメンほか)
 - ・鶴ヶ城観光
 - ・ハイテクプラザ(山形屋泊)
- 2/8木**
 - ・ほまれ酒造見学
 - ・雲嶺庵にて生菓子作り見学、茶道体験
 - ・山都そば資料館そば打ち体験(昼食)
 - ・若喜商店 しょうゆ蔵見学
 - ・小原酒造見学
 - ・さよならパーティー(山形屋泊)
- 2/9金**
 - ・山形屋出発
 - ・喜多方市役所にて、さよならあいさつ
 - ・羽田へ

喜多方ラーメンに舌鼓 So Good!



ラーメン
市役所近くの「喜多屋」を貸し切りさせて頂き、喜多方ラーメンを食べて頂きました。喜多屋さんでは英語表記の甘酒をサービス。宿泊施設でも甘酒を召し上がっていたようです。



市役所視察
ウィルソンビル市議会議員の皆さんは、行政のソフト・ハードについても関心をお持ちでした。まずは、市役所内の視察です。



ビーナッツ工場(APJ)見学
ウィルソンビルのヘーゼルナッツ(ウィルソンビル市があるオレゴン州では、アメリカで市場に出回るヘーゼルナッツの99%を生産)と肩を並べる喜多方市のビーナッツ。松崎社長は、商品化するまで多くの方々に協力して頂いている話を、また将来の夢もお話されていました。ウィルソンビルの職員として随行しているエリカさんはじめ、皆さん美味しく食べていたのが目に焼き付いています。



2022年度にオンラインで交流した姥堂小学校訪問
生徒たちが訪問団の皆さんに英語で自己紹介を行い、楽しく交流をしました。学校給食も試食させて頂き、おいしくて栄養バランスのとれた給食に高い関心を持っていました。

Column

感謝、そして門出を祝福

今回の訪問には過去の短期研修生3人が、積極的に行動を共にしてくれました。彼女達は短期研修生として、またコロナ禍でのオンラインによるホストタウン活動にも参加しています。短期研修生としての経験が、彼女達その後の進路に大きな影響を与えたようです。彼女達はこの春、それぞれの目標に向かって歩き出しました。



交流深まり、広がる友好の輪

06
2月7日



岩月交遊館での料理交流会

ここはコロナ禍の時のオンライン会場になった場所。その時の様子が掲示してありました。またこの会場には、エイドリアンさんのホームステイ先の唐橋さんご夫妻が足を運んでくれ、28年ぶりの再会をしました。お料理の指導は「食生活改善推進委員会」の方々。「肉じゃが」がとても好評でした。



Let's experience it

05
2月6日



ビジネス交流会

この5年の間にオンラインで交わした両市長たちの要請を踏まえ、今回初めて「ビジネス交流会」を開催しました。佐藤会長から1つの提案が出され、「姉妹都市締結の10月17日」を記念日にしたらどうかという話も出ていました。またここでは、田原屋さんがヘーゼルナッツを使った和菓子の試作品「大福」を提供してくれました。

07
2月8日



ほまれ酒造の「雲嶺庵」でお抹茶体験

抹茶を頂く前に、酒造りの工程を見学。売店では人気のショコラ酒をはじめ色々なお酒を試飲。お抹茶の指導は宋偏流の斎藤千代子先生です。3月を前に季節を感じさせるお道具一式を準備、またお土産には小さなお茶の扇子を頂きました。お菓子は田原屋さんの生菓子づくりの実演。

08
2月8日



山都そば資料館のそば打ち体験と試食

このシーンは喜多方市の広報にも掲載して頂きました。



訪問団へ送られた記念品

09
2月8日



宿施設山形屋さんでのさよならパーティー

ボランティアを務めた方々や過去の研修生達も参加。Wilsonville市の皆さんお一人おひとりからお話を頂きました。笑いと涙が尽きない「さよならパーティー」でした。漢字のまち喜多方を活かしたお一人おひとりの名前が書かれた古代文字の額は大変喜ばれました。サプライズはエリカさんと協会職員の手への感謝の1コマ。この2人は17時間の時差を克服しての打ち合わせを、直前まで続けてくれました！

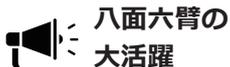
姉妹都市締結35周年署名式と宣言書



日米委員会 委員長 佐藤 治良さん

Wilsonville市との短期研修は、2001年米国同時多発テロの中止を除き、様々な形態をとりながら今日まで28回続いています。この中で団長として最多の回数を残しているのが佐藤治良さんこと「ジローさん」です。このように両市を繋いで頂いた方がいらっしゃったこともこの事業が継続した理由の一つと考えています。沢山の思い出をお聞きましたが、東日本大震災の漂流物をはるかアメリカ西海岸にまで流れついたお話は記憶に残りました。ジローさんは、この事業が喜多方市の子どものために、今後も続くことを願っていました。

Column



今回の通訳はヤマグチマイケルさん。マイケルさんは行く先々をしっかりと調べ上げ、それを訪問団の皆さんに事前にお渡ししての帯同通訳。訪問団の皆さんはマイケルさんの心遣いに感激！さよならパーティーの時は訪問団の皆さんから、「先生！」と呼ばれて大変感謝されていました。



2019年(令和元年)は、翌年の2020年に東京で開催される「東京オリンピック・パラリンピック」に向けての希望に満ちた幕開けでした。喜多方市もウィルソンビル市との長年の交流が認められ、「復興ありがとうホストタウン」を旗印にアメリカのホストタウンに決定。2020年の開催に向けて活動を本格化させます。この年は天皇の皇位継承により、5月1日から元号が「平成」から「令和」に変更。協会もホストタウン活動に協力しながら、様々な事

業をスタートさせます。「第27回短期研修生」の派遣を10月末に出発。約2週間前の10月3日には、ホストタウン活動の一環としてウィルソンビル市から姉妹都市協会のキャシーライスさんはじめ6名の方々が来喜しています。しかし世界各地から新型コロナウイルス感染症の情報が届き始め、国内でも翌年1月15日初めての感染が確認。社会は新型コロナウイルスの不安と恐怖に包まれていきます。

4/10・9/11

春期日本語教室
開講(～6/26
全11回)・秋期日
本語教室開講(～
11/27 全11回)



春期日本語教室

5/31

第31回協会総会

2019

6/15

国際交流イベント
「BBQ交流会」



BBQ交流会

7/24・7/31

初心者向け
英会話教室



初心者向け英会話教室

8/12

米国ボート協会と
のホストタウン交
流事業
歓迎レセプション

10/3

ウィルソンビル市
関係者とのホスト
タウン交流事業
意見交換会

10/4

ウィルソンビル市
関係者とのホスト
タウン交流事業
調理体験と試食会



意見交換会



調理体験と試食会

10/26

第27回ウィルソン
ビル市短期研修
出発(11/5帰国)



第27回ウィルソンビル市短期研修

10/28

中国江蘇省宿遷市
交流事業
出発(11/1帰国)

2/7

キムチ作り教室



キムチ作り教室

2020

新型コロナウイルスの感染は驚くような速さで拡大していきます。ワクチン接種も始まりますが、そんな中、IOC国際オリンピック委員会は東京でのオリンピック・パラリンピックの開催を一年延期することを決定しました。2020年度(令和2年)はそんな幕開けでした。協会の理事会や県の理事会も書面決議になり、ウィルソンビル市高校生使節団の受入や春期日本語教室・外国料

理教室等の開催も中止されました。人々の交流は制限され始め、ZOOMでの交流も出てきました。国際的に社会経済活動が制限され、これまでの交流が見直しを迫られていく中、しかしウィルソンビル市は、姉妹都市活動をボランティアの組織から市の活動へと位置付けます。これまでの相互交流とホストタウン活動を契機に、更に深い絆を結んでいこうという意思表示と捉えています。

9/9

秋期日本語教室
(～11/25 全11回)



秋期日本語教室

11/28

ホストタウン交流
事業 アメリカに
親しむオンライン
講座
(～12/9 全4回)



12/3

姉妹都市エール
プロジェクト



姉妹都市エールマスク

2/2・2/9・2/17

ホストタウン交流事業：
オンライン交流会
①喜多方高/喜多方東/
ウィルソンビル高校
②協会/喜多方市役所/
ウィルソンビル姉妹都
市協会
③両市長・教育長



オンライン交流会

2/20

英語で絵本の読み
聞かせ会
(講師：ヤマグチ
マイケル氏)



英語で絵本の読み聞かせ会

5/25・3/1

【書面決議】第32
回協会総会(役員
改選)・理事会

9/24

会報第24号発行

2020

2021

Column

ホストタウン交流 一層の進展を

2019年(令和元年)は日本中が、翌年東京で開催される「オリンピック・パラリンピック」に向け、活気に満ちていました。「ホストタウン」と言う聞きなれない言葉もようやく浸透し、アメリカのホストタウンになった喜多方市にも国際化の波がどっと押し寄せてきた感じでした。

新型コロナウイルスは次々に変異を繰り返しながら脅威を振るってきます。ワクチン接種も大規模に行われ、社会の様相は一変しました。多くの人命が失われ、人と人との交流が少なくなり、世界では都市封鎖と言う現象まで出てきました。そんな中、東京オリンピック・パラリンピックが無観客で開催されます。その夏もまた、「酷暑」と言われる現象が出現。協会の活動も春の日本語

教室を一時中断。総会も書面決議、県協会の理事会も書面決議と続きます。ホストタウン活動はオンラインでの会議が大半の年。そんな中、昨年度ホストタウン活動で来喜して頂いたウィルソンビル市のキャシーライス会長が5月にご逝去なさいました。関係者はキャシーさんの功績をたたえ、メモリアルボードを作成しました。この年も、短期研修は感染症の影響で中止でした。

<p>4/7 (5月は休講) 春期日本語教室 (~6/23 全11回)</p>	<p>6/4・3/11 【書面決議】 第33回協会総会・ 理事会</p>	<p>8/5 在住外国人との料理教室「冷やし中華・いももち」</p>  <p>冷やし中華・いももち</p>	<p>9/17 喜多方高校国際交流特別講演会 (講師: ヤマグチマイケル氏)</p>  <p>喜多方高校にて</p>	<p>10/17 外国人のための防災講座「自分と家族を防災から守る方法を学びましょう！」</p>  <p>外国人のための防災講座</p>
<p>2021</p>	<p>8/4・12/9 【オンライン】 ホストタウン交流事業 第1回・第2回ウィルソンビル市関係者とのオンライン会議</p>  <p>料理教室</p>	<p>9/1 秋期日本語教室 (~11/24 全11回)</p>	<p>9/26 English講座 (講師: ヤマグチマイケル氏)</p>	

<p>2022</p> <p>会報第25号発行</p> <p>3/30</p>	<p>【オンライン】 ホストタウン交流事業 ウィルソンビル市と地域住民とのオンライン交流会 (岩月公民館)</p> <p>3/3</p>  <p>オンライン交流会</p>	<p>オレゴンの人々に喜多方ラーメンを紹介</p> <p>【オンライン】 ホストタウン交流事業 「オレゴンの人々に喜多方ラーメンを紹介」(喜多方高校生/堀川屋/五十嵐製麺)</p> <p>2/6</p>	<p>【オンライン】 ホストタウン交流事業 ウィルソンビル市とのオンライン交流会 (~2/25 各小学校全10回)</p> <p>1/25~</p>  <p>オンライン交流会 第一小学校/2月21日</p>  <p>オンライン交流会 熊倉小学校/2月25日</p>	<p>メモリアルボード</p>  <p>ウィルソンビル姉妹都市協会故キャシーライス会長メモリアルボード完成報告</p> <p>12/16</p>	<p>英語で絵本の読み聞かせ会 (講師: ヤマグチマイケル氏)</p> <p>外国にルーツを持つ子どもの支援事業 (~2023/3/31)</p> <p>10/31・3/20</p> <p>12/2</p>
-------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

協会誕生の経緯

1985年(昭和60年)日本キリスト教団喜多方市部の牧師がウィルソンビル市を訪問した際、当時のウィルソンビル市の市長から喜多方市との交流を希望する申し入れがありました。そのことを契機に交流が始まり、1988年10月17日、両市は「姉妹都市宣言」に調印。翌月11月14日には、会津喜多方商工会議所の協力のもと「会津喜多方国際交流協会」が誕生しました。



喜多方市生涯学習課：ホストタウン交流事業担当(当時) 富田 真紀さん(談)

「2020年、喜多方市で再会しましょう。」と当時のティム・ナップ市長の快諾のもと、米国を相手国とした「ホストタウン」事業が始まりました。その後、2019年10月には、ウィルソンビル姉妹都市協会のキャシー・ライス会長(故人)や市職員のエリカ・ベラーさんらをお招きし、ホストタウン交流を通じた姉妹都市交流の発展について意見交換を行いました。しかし2020年にコロナウイルス感染症が世界的にまん延し、東京オリンピック・パラリンピックが無観客開催となりました。「ピンチをチャンス」にしようと会津喜多方国際交流協会など多くの皆さんに協力をいただき、オンラインでのホストタウン事業を実施することになりました。オンライン交流会では様々な取り組みをしましたが、520名を超える児童生徒の皆さんが参加してくれました。ホストタウン事業が姉妹都市交流の発展に寄与したことをうれしく思っています。

Column

コロナ、気候変動
もたらす未来は

新型コロナウイルスによる無観客の東京オリンピック・パラリンピック開催。それに酷暑と言われる異常な暑さとゲリラ豪雨。まるで世界の終焉が近づいて来ているような錯覚に陥りました。また「コロナ禍」と言う言葉も定着し始めてきました。悲しいですが、倒産や自殺者が増加してきたのです。

この年度は江蘇州宿遷市との友好都市を締結した年です。2019年の宿遷市訪問を経て互いに交流を深めてきた成果であり、日中委員会がある協会も交流に協力していきます。この動きに連動するように協会の体制整備を求める活動も本格的に動き出します。コロナ禍からの脱出はまだ見えませんが、しかし出口がおぼろげに見え始めた年でもあります。オンラインでの会議は継続しつ

も、対面での情報交換も復活しています。外国との交流はまだ本格的にはならないため、ホストタウン活動はオンラインを活用して行われています。この事業によって喜多方の子ども達の多くは姉妹都市ウィルソンビル市の存在をしっかりと認識するとともに、国際化の体験ができたのではないのでしょうか。

4/13・9/7

春期日本語教室
(~6/29 全11回)・
秋期日本語教室
(~11/30 全11回)



春期日本語教室

7/28

宿遷市との友好都
市締結式・記念碑
序 幕式及び記念
植樹出席



記念碑



記念植樹

9/21

宿遷市オンライン
交流事業「のり巻
き作り」協力



宿遷市(中国)



喜多方市



海苔巻き作り

10/7

(6/28・11/7・1/26)

喜多方市長訪問「国際
交流協会体制整備に
関する要望について」要望
書提出
(市役所と3回に及び国
際交流協会体制整備に
関する協議が行われた)

4/11~

外国にルーツを持つ
子どもの支援事業

5/30・3/27

第34回協会総会・
理事会

7/31・12/18

英語で絵本の読み
聞かせ会
(講師:ヤマグチ
マイケル氏)

2022

2022

2023



米国ポート協会

【オンライン】
ホストタウン交流
事業 ウィルソンビル
市との意見交換会
(会津喜多方青年
会議所)

3/18・3/24

【オンライン】
ホストタウン交流
事業 米国ポート協会との
オンライン交流会
(小学生:スポー
ツ少年団)

3/12



ウィルソンビル市との意見交換会



オンラインホームステイ/2月11日

【オンライン】
ホストタウン交流事業
オンラインホームステイ
(小学生)
①ウィルソンビル高校
②ホストファミリー
③オレゴン日米協会

2/4・2/11・2/18



外国語活動姥堂こども園

外国語(英語)活動:
姥堂こども園
(講師:ヤマグチ
マイケル氏)

1/30・2/22



オンライン交流会
姥堂小学校/2月16日・17日



オンライン交流会
塩川中学校/1月27日



オンライン交流会
上三宮小/2月20日

【オンライン】
ホストタウン交流
事業 ウィルソン
ビル市とのオン
ライン交流会
(~3/8 各小・
中学校全10回)

1/25~



喜多方市企画調整課:中国担当 大野 朋子さん(談)

喜多方市の友好都市である中国宿遷市との交流は、平成26年に王華前新潟総領事が宿遷市を訪問し、日本有数の観光地として「喜多方」との交流を推薦して下さったことをきっかけに始まりました。平成28年に喜多方市長が宿遷市を訪問したのを皮切りに往来を重ね、令和4年7月28日に友好都市協定を締結しました。今後は、青少年を始め市民の皆さん相互の交流を通じて、両市の友好関係が一層深まるよう努めていきたいと考えています。

Column

📢 待ち望んだ
それぞれの“日常”

この時期はワクチン接種の話題が多くなりました。案内が来るとすぐ接種する人、それとは一切関係なく生活する人等々。メディアでは連日のように取り上げられ、世界ではロックダウンまで行った国も出てきました。人々が自由に交流できる日を心から待ち望んでいました。



大きな事業が続く年となりました。前年の活動により、協会の体制整備が拡充されました。事務局長のポストが新設され、協会職員の待遇もアップ。さらに県のモデル事業も受託し、喜多方市と共に、多文化共生社会のモデルづくりに取り組みました。県のモデル事業を受託したことは、協会にとって大きな転機になりました。モデル事業のコーディネーターには以前の協会職員五十嵐千春が就任。かつて国際交流事業を経験した強みを発揮して、エネ

ルギッシュにモデル事業を展開していきました。またこの年の5月には、新型コロナウイルスの扱い方が通常のインフルエンザ並み、いわゆる「5類」に変わりました。そして年度末の2月から、姉妹都市締結35周年を記念してウィルソンビル市の方々が喜多方に来喜。コロナ禍からようやく日常を戻しつつある我々に、春一番を吹き込んでくれました。

4/1~

市から新規委託事業「在住外国人支援事業/国際交流事業」を受託
 ❖日本語スキルアップ・ボランティア養成講座、ごみの出し方講座、ごみの出し方パンフレット作成、在住外国人に関する調査/意見交換会
 ❖外国語(英語)活動、多文化理解講座、外国料理教室、国際交流イベント、ボランティア人材育成



ごみの出し方
パンフレット作成

2023



多文化理解講座(中国)/1月22日



外国語活動
すぎっこども園/12月20日



英語でクッキング/2月23日

4/10~

県より「令和5年度外国人と地域住民との共生モデル事業」を受託(～3/18)
 関係者とのキックオフミーティング、交流イベントの実施、意識調査、生活ガイド、事例集作成、先進地視察



モルック大会/12月10日



もちつき/1月4日

4/5・9/1

春期日本語教室(～6/28 全11回)・
 秋期日本語教室(～11/29 全11回)
 ロータークラブ留学生も参加

2024



ウィルソンビル市訪問団さよなら

喜多方市・ウィルソンビル市姉妹都市締結35周年記念事業
 ウィルソンビル市訪問団来喜(～2/9)

2/4

会報第26号発行

12/25



中国大使館訪問
 中国大使館訪問

1/24



第28回ウィルソンビル市短期研修

第28回ウィルソンビル市短期研修(～11/7帰国)
 研修生13名・引率2名
 2019年から4年ぶりに短期研修が再開。個人の負担額は過去最高の30万円強に！

10/28

英語で絵本の読み聞かせ会(講師:ヤマグチマイケル氏)

6/18・11/19



理事会/3月27日

第35回協会総会・理事会

6/5・3/27

外国にルーツを持つ子どもの支援事業(2024年度も継続)

4/20



協会サポーター ヤマグチ マイケルさん



協会が大変お世話になっているマイケルさん。コロナ禍の中でも「英語で絵本の読み聞かせ会」や講演会の講師、またウィルソンビル市の方々には通訳の仕事を超えた「おもてなし」をして頂きました。さらに2023年度の市からの委託事業の一つ、こども園での英語の活動では、歌やダンス、絵本やゲームを通じて子ども達に英語に触れる楽しさを伝え、時にはサンタさんに扮しての対応も！その熱心さには脱帽します!!

今後も協会の良きサポーターになって頂くことをお願いします。

Column

千変万化
充実した1年に

忙しい忙しい1年でした！新たに市から委託された事業や4年ぶりに再開するウィルソンビル市短期研修事業への対応。それに県からの多文化共生事業の取り組み。年度末は姉妹都市締結35周年を記念してのウィルソンビル市訪問団の来喜。疾風怒濤のように1年が過ぎました。

財務基盤活動

■財務基盤活動賛同者一覧（法人名/個人名）【財務活動期間 令和5年9月～令和6年3月】

令和6年3月末日現在 ※五十音順

法人		個人
会津エナジー株式会社	JUKI会津株式会社	荒川 洋二
会津電力株式会社	株式会社ダイゴ	佐藤 治良
株式会社アクシス	NPO法人日中友好技術人材交流協会	佐藤 富次郎
株式会社ウエステック	羽入縫製株式会社	
檜内建設工業株式会社	マツモトプレジジョン株式会社	
株式会社河京	合資会社大和川酒造店	

姉妹都市締結35周年を機に、財務基盤の活動を行いました。ご賛同いただいた方々です。

寄付総額 148万円

◆寄付金の使途◆

- *協会ホームページ作成費
- *創立35周年記念誌作成費
- *協会パンフレット作成費
- *移転に伴う諸経費 ほか

■法人会員【法人会員/62 個人会員/116】

令和6年3月末日現在 ※五十音順

事業所名	事業所名	事業所名	事業所名
(株)会津喜多方グローバル倶楽部	檜内建設工業(株)	(有)新丁子屋	(有)松本屋
会津商工信用組合 喜多方支店	カランドリエ	(株)スカイ運輸	(株)丸正
会津信用金庫 喜多方支店	(株)河京	(医)爽陽会 鳴瀬病院	(有)峰の雪酒造場
会津電力(株)	喜多方グリーンホテル	(株)曾我製麺	山田あつし歯科医院
(有)朝日屋食品	喜多方ブル自工(株)	(株)ダイゴ	(医)山田産婦人科医院
アドフレックス	木之本漆器店	(株)大東銀行 喜多方支店	夢心酒造(株)
荒川産業(株)	協蔵のまち喜多方老麺会	(株)高橋建設	
(株)五十嵐製麺	(福)啓和会	東條 貞一郎	
(株)伊藤金四郎商店	(医)健仁会 あきもと整形外科クリニック	(株)東邦銀行 喜多方支店	
(株)岩田商店	(株)小枝屋一平	(有)中野商店	
(株)ウエステック	(株)COCKPIT121	NPO法人日中友好技術人材交流協会	
(株)ヴェルリンク	(医)昨雲会 飯塚病院	(株)ノーリン	
(有)江川建設重機	(医)佐原病院	羽入縫製(株)	
(有)おお多	(医)子博会 高橋小児クリニック	マツモトプレジジョン(株)	
小汲歯科医院	(株)島崎組	日吉工業(株)	
小野瀬工業(株)	(医)日新会 入澤病院	(名)星商店	
カーシーカシマ(株)喜多方工場	JUKI会津(株)	ほまれ酒造(株)	

■協賛団体

事業所名
(一社)会津喜多方青年会議所
会津喜多方ライオンズクラブ
喜多方中央ロータリークラブ
喜多方ロータリークラブ
国際ソロプチミスト喜多方

■会津喜多方国際交流協会と事務局 (2023年度(令和5年度)現在)

<p>正副会長</p>  会長 佐藤 富次郎  副会長 五十嵐 敦  副会長 星 宏一  副会長 磯部 英世	<p>日米委員会</p>  理事 委員 佐藤 治良  理事 副委員長 唐橋 裕幸  理事 委員 山口佳代子  理事 委員 庄司 英喜	<p>日中委員会</p>  理事 委員長 田中 勉  理事 副委員長 梅木 信秋	<p>監事</p>  監事 村上 将臣  監事 佐藤まゆみ
<p>外国人交流支援委員会</p>  理事 委員長 蓮沼 ふみ  理事 副委員長 折笠 敦子  理事 委員 岩田善一郎  理事 委員 高橋 宗胤  理事 委員 小野瀬登紀子  理事 委員 高橋 亮一  理事 委員 沢井 清英  理事 委員 戸田 由美		<p>事務局</p>  事務局長 堀 恵子  事務局長 土手 恵  コーディネーター 五十嵐千春	

編集後記

2018年度(平成30年度)に作成した「30周年記念誌」からの5年間の動きをまとめました。2019年度(令和元年度)から2023年度(令和5年度)までの期間です。この5年間のスタートは2019年から始まりですが、前年の2018年には、57年ぶりの東京での二度目の「オリンピック・パラリンピック」が開催決定。その翌年が2019年。勢いがありました。しかし、元号が平成から令和に変更、また世界中を震撼させた新型コロナウイルス感染症拡大の兆しも見えるなど、歴史的な出来事が忍び寄ってくる変化の激しい流れの入り口でもありました。これら大きな流れに私達の町も飲み込まれていきます。しかしまだ一人しかない協会職員でしたが、関係者の皆様にお助けられ、協会にとって

事務局 堀 恵子
 大切な事業を一つ一つ成し遂げ、同時に、これからの社会に必要な事業も先取りしながら歩んでいました。このような状況において、県の「外国人と地域住民との共生モデル事業」を受託したことは協会にとって大きな転機でした。これらの成果を基に、協会は一段とウイングを広げ、外国人も市民も共に住みやすい町にしていきたいと考えています。またウィルソンビル市との35年に及ぶ交流は、両市の絆を更に強く太いものに成長させてくれたのではないのでしょうか。国際交流協会の活動が、この町に、次代を担う子ども達に、少しでも力になればと改めて考えています。会員の皆様始め関係者の皆様に重ねて御礼を申しあげると共に、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。